

第1回 大阪都市計画道路天王寺大和川線事業説明会 議事要旨

1 日時 平成28年8月25日(木) 19時から20時45分まで

2 場所 東住吉区民ホール(東住吉区役所4F)

3 参加者 117名

4 議事要旨

地域協働の取組により策定した『地域協働でまとめた天王寺大和川線の基本計画検討案』を基に、関係機関と協議・調整を行い、“駅前広場と道路の形態”について基本設計を実施したので、その内容について、今後の整備スケジュールやその考え方もあわせて、建設局から市民の皆さまに説明。

【主な意見・質問等】 ○：主な意見・質問 →：大阪市回答

○「風かおるみち」のコンセプトが崩れ、みち・みどり会議で取りまとめた整備案と全く違う内容ではないのか。

→みち・みどり会議での地域案をベースに整備計画検討会議の議論を経て、取りまとめた検討案を踏まえ、現場状況を確認し、交通管理者とも協議しながら、基本設計を作成した。そのため、この基本設計は「風かおるみち」のコンセプトに基づく設計と認識している。

○総事業費約940億円に緑地整備費は含まれるのか。

→含まれている。

○なぜ緑地整備は今後の検討としているのか。

→道路を整備する部分を確定しなければ、緑地として整備する部分が決まらないため、まずは道路部分を確定したい。緑地部分の整備内容は検討していく予定である。

○信号は設置するのか。

→信号設置については、交通管理者と協議し、必要であれば設置することになる。

○今後のスケジュールで各種協議調整等とあるが、地元商店会とも協議してもらえるか。

→地元商店会とも協議していく。

○私は住民団体に所属していないが、そのような住民の意見は聞き入れてくれないのか。

→住民団体の所属の有無に関わらず、意見や要望があればお聞きする。

○商店街への歩行者動線を確保するために、南田辺駅の東側にあるフェンスを撤去してほしい。

→不法占拠・不法投棄の防止の観点からフェンスは撤去しない。

○南田辺駅の駅前広場を整備するために、法楽寺から阿倍野区に抜ける東西道路をふさぐ計画のようだが、地域住民にとって主要道路であるので、残してほしい。

→今後、交通管理者との協議が必要であるが、残す方向で詳細設計を進めていく。

○南田辺駅周辺の整備について、阿倍野区にある学校の通学安全性を確保するためと説明があったが、阿倍野区民に配慮しすぎではないか。南田辺駅東側に対面通行の車道を通すことは、東住吉区民にとっては現状より危険になる。

→みち・みどり会議では意見が集約されなかった箇所である。このため、行政で検討することとなっていた。何案か検討した中で、学校の通学路や駅東西の住宅街になるべく通過車両を入れないようにするなど、地域の交通安全も考慮した結果であり、今回説明した案が最適であると考えているので、ご理解いただきたい。

○鶴ヶ丘駅前には地域のイベントを開催できる空間は整備されるか。

→旧鶴ヶ丘駅舎用地が駅前広場となり、イベント開催可能な空間は確保できる。

○鶴ヶ丘駅周辺について、新たに車道を整備するのか。

→駅から幹線道路(南港通、あびこ筋)へ出る一方通行の車道を整備する。

○新たに道路を整備する場所(南港通北側～あびこ筋)について、みち・みどり会議では沿道の土地利用を考慮するような話はなかった。

→基本計画検討案では、道路がなければ沿道における将来の土地利用や開発に影響を及ぼすとしている。